

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 日南町の活性化について ①地域の担い手づくりについて伺う。 ②多文化共生社会の取り組み及びシアトル海外研修、モンゴル交流の更なる取り組みについて伺う。	1. ①農林業の担い手をはじめとする地域が求める多様な人材の受け入れについて、地域おこし協力隊制度の活用を検討したい。各地域にはそれぞれ地域の中での役割を明確にしていきたい。また、未来を担う子どもたちをしっかりと育てていけるよう取り組みを進めていきたい。 ②町民が外国の言語・文化等に対する理解を深める機会の提供に努めていきたい。人的交流は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら取り組みを進める。その他の取り組みはオンラインによる交流など、できる形での取り組みを継続していきたい。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. セントラル農場の環境問題について ①12月25日に社長との面談があったが、町長として社長の回答内容についてどう思われたのか。 ②今年に入ってから水質の悪化（泡・濁り発生）についてどのように感じられたのか。 ③県の立ち入り調査の日程は決まったのか。 ④議会で「河川の水質悪化に関する意見交換会」の位置づけについて問題提起されたが、町としてどのように考えているのか。 2. 施政方針について ①『日南町地球温暖化防止実行計画』を通して進めてまいりましたが、改めて日南町は『温室効果ガス排出ゼロを目指す自治体』としてここに宣言をいたします。」とあるが、今までの取り組み実績についてどう思っているのか。 ②町長初年度の施政方針で、検診受診率80%、ふるさと納税寄附金1億円、結婚件数50件の具体的数値目標を示されたが、令和2年度の実績と令和3年度の目標数値はいくらなのか。	1. ①主に濁りの発生源、浄化槽管理体制と更新計画、協約書締結の4項目に絞って話し合いを行った。時間も限られていたが、回答の方向性については理解した。 ②設備機器の故障だけでなく、施設の老朽化と管理体制に課題があると感じている。 ③3月中に実施できるよう調整中である。 ④水質や設備管理、そして協約書締結に向け、対象者と県の参画による少人数での会議をもつことが必要と考えている。 2. ①町関連施設のCO2排出抑制に取り組む計画であり、地域に向けた取り組み発信につながったと考えている。 ②検診受診率は目標の80%に対して、令和2年度の実績は胃がん23.8%、肺がん25.2%、大腸がん30.3%、子宮がん28.4%、乳がん54%、全体平均で30%であった。令和3年度目標値は80%に近づくよう、受診率の向上を目指す。個人版ふるさと納税の実績は、令和3年2月末時点の寄附件数913件、寄附額は25,920千円である。令和3年度の寄附目標額は60,000千円。令和2年度の結婚実績は12件。令和3年度の結婚目標は16件。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 高齢者住宅の整備について 日南町介護予防・生活支援体制整備推進協議会や日南病院・日南福祉会・福祉保健課による打ち合わせ会などを開催され、高齢者の住まいについて話し合いがもたれている。 ①今後80代、90代の一人暮らしや夫婦世帯が自宅生活の不便さから住み替える人が増えると予想され、高齢者住宅が必要と報告されている。それに対する対策を伺う。 ②冬期入所も抜本的な体制整備が必要と考えるが、今後の取り組みを伺う。	1. ①日南町介護予防・生活支援体制整備推進協議会において、かすみ荘を新築し、冬期入所とサービス付き高齢者住宅の新築が望ましいという意見が出ており、かすみ荘を改修し、食事、見守りの提供できる施設整備を検討する。 ②当面の間は冬期入所の継続は必要であるが、将来的には年間を通じての住み替えに移行する方向で、既存サービスの活用と併用したい。
2. コロナワクチン接種について ①ワクチンの供給量やそれに伴う開始時期など不確定要素は多いが、シミュレーションとして、場所（待機、接種、経過観察）、一日の接種人数、人員体制（医療従事者及びそれ以外の人）など、現時点でどのように考えておられるか伺う。	2. ①4月下旬より土・日曜日のみに接種日を設定し高齢者の接種を開始予定。日南病院での集団接種を基本とし、健康福祉センター、日南病院の両施設で受付から問診、接種、経過観察の導線を作る。一日の接種人数は160人から200人程度と想定し、各接種日とも医師2名を確保、看護師、事務員については配置必要数を検討中である。
3. 道の駅について ①コロナ禍の中にあって、GoToトラベルの効果と年間の経営状況、アフターコロナの取り組みについて伺う。	3. ①GoToトラベルにより、県内観光地と合わせての来客や地域クーポンの利用など一定の効果があった。経営状況は4月から5月にかけて休業した影響もあり落ち込んだものの、6月から徐々に回復し、9月から11月は対前年を上回る売上であった。12月以降コロナや雪の影響で再度落ち込んでいる。アフターコロナとして、通販サイトの強化、近隣イベントでのPR、新商品の開発を検討されており、町も適宜対策を講じ

4. ふるさと納税について ①令和2年度現時点の前年比実績、とりわけ企業版ふるさと納税実績について伺う。また、令和3年度一層高い目標を掲げておられるが、目標達成に向けた取り組みの重点は何か伺う。	ていく。 4. ①令和3年2月末時点の個人版ふるさと納税の前年同期比実績は、寄附件数 316%、寄附金額 374%の伸び率である。企業版ふるさと納税についての実績はない。令和3年度は、寄附目標額を 60,000 千円とし、更なる推進を目指し、引き続き「既存商品のブラッシュアップと新たな返礼品の開発」、「新規参入事業者の開拓」、「日南町ファンとリピーターの確保」、「企業版ふるさと納税の実績獲得」に重点を置いて取り組む。
---	---

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 移住・定住対策について ①コロナ禍により都市部を中心とし地方回帰、田園回帰への関心が高まっているが、町の状況はどうか伺う。 ②人口減少対策及び集落機能を維持していくために、地域おこし協力隊制度の活用は有効な手段である。町でも平成25年度以降、農林業研修生などを隊員と採用しているが、その効果をどう評価しているのか伺う。 ③移住者の受入には住宅の確保も検討する必要がある。町営住宅や、空き家バンク制度などにより対応しているが、慢性的な住宅不足状態と思われる。解消に向けて具体的対策はなされているのか伺う。 2. まちづくり協議会について ①各まち協の5ヵ年計画の主な内容について伺う。 ②各まち協の令和3年度交流活動事業に係る要望額と予算計上額は。また、その査定方法について伺う。 ③住民参画のまちづくりを推進するためにまちづくり協議会を設置してあるが、まち協事業を財政的・人的に支援するための根拠が、行政機関の内規である要綱・要領でしか示されていない。 条例を制定し、まちづくり協議会の自主性や主体性を尊重し、事業活動に対する行政の支援を担保すべきと考えるがどうか。	1. ①コロナ禍に特化した相談は、2件程度の状況である。 ②地域おこし協力隊制度は本町にとって有効なものである。農林業研修生制度で活用を広げ、研修生の定住により地域の活性化につながっている。今後は、更に多種多様な人材を地方に呼び込む施策として活用していきたい。 ③空き家活用の推進、新たな住宅確保の検討を進めていきたい。 2. ①防災対策、支え愛活動をはじめ、地域資源の有効活用に取り組む内容が多く見受けられる。 ②要望額は日野上が400千円、阿毘縁が294千円、大宮が618千円、多里が2,292千円、福栄が536千円。予算計上額も同額。予算編成の中で査定している。 ③町による財政的・人的支援は欠かせない役割と考える。条例制定は今のところ考えていないが、既存の要綱等で柔軟に対応・支援していきたい。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. グリーンドリーム計画（仮称）と環境施策について ①町は可燃ごみ処理施設を西部で1カ所に集約する基本構想（案）に賛同する方針を示している。この構想は廃プラスチックを燃やし余分な二酸化炭素を排出するものである。一方で森林による二酸化炭素吸収を唱えながら、他方で余分な二酸化炭素を排出する。これは大変矛盾した施策ではないか。町長の見解を問う。 ②廃プラスチックの問題を解決する最善の方法は、使うプラスチックの量を減らすことである。町の行事でのプラスチック包装の削減やマイボトルの推進など“グリーンドリーム”の名にふさわしい施策を組み合わせるつもりはあるか。 2. 新型コロナウイルス感染症対策について ①担当大臣によると一般向けのワクチン接種は7月以降であり、それまでPCRの社会的検査で感染を抑えることが依然重要と考えられる。町としてPCRの社会的検査を積極的に進めてはどうか。 ②新型コロナ対策の第3次の交付金1億円余りの内、4,700万円をシンクライアント環境構築など電算管理に充てる一方で、商工業者への直接支援はチャレンジ企業支援補助金の300万円など非常に限定的である。2回目の緊急支援応援金など直接支援を拡充してはどうか。 3. セントラルファーム(株)の污水対策について ①10月以降、小原川の濁りを抑えるため污水処理に酵素を利用しており今後も試験を続ける	1. ①計画中の広域処理施設は焼却し発電する、いわゆるサーマルリサイクルを行うことから、廃プラスチックも有効活用していく施設であり、矛盾する施策ではないと考えている。 ②マイボトルの推進など、具体的な取り組みについては環境立町推進協議会などで検討していく予定である。 2. ①現在まで町内で新型コロナウイルスの陽性者が出ていないこともあり、現段階では実施について考えていない。PCR検査は感染者や濃厚接触者が判明した場合の感染拡大防止には有効であるが、感染を抑える上で重要なのは新しい生活様式に示される普段からの予防対策をしっかりと実践していくことである。 ②現時点の予算枠の中では直接支援の拡充は予定していないが、状況に応じて支援を行っていきたい。新年度のキャッシュレス事業を推進し、町内経済の活性化に努めたい。 3. ①小原川の濁りの原因については未だ明らかになっていない。農場は浄化槽の管理を徹底し

とのことだが、BOD、COD、SSなどの結果を見る限り7月以前の状態へは戻っていない。もっと根本的な問題があるのではないか。 ②信頼回復のため情報公開が重要であるが、汚水の状況について出てくる情報の質も量もほとんど変わっていない。住民や議会へのしっかりした情報公開のルール作りが必要と考えるがどうか。 ③污水处理問題の根本的対策について町はどう考えているか。 4. 国民健康保険の第2期運営方針について ①保険料水準の平準化について12月定例会の時点では慎重な意見を述べている市町村があったにも関わらず、パブコメにかけられた案は保険料水準の統一を目指す方向でまとめられている。連携会議などでどのような議論があったのか。 ②子どもの均等割減免について運営方針に盛り込むことを求めてきたが、全く触れられていない。一方で国は2022年度から未就学児の均等割を軽減する方針を示している。子どもの均等割減免について、町の考え方を改めて問う。	ながら早急に原因を究明する必要があり、行政機関は水質改善に向け指導を行う。 ②農場は新たな体制となり情報公開に努力はしている。しかしまだまだ不十分なところがあるため、信頼回復に向けてさらに飼育状況やトラブル対応など誠実に情報提供をする必要がある。 ③町としては従来から浄化設備の更新を望んでおり、併せて管理体制の強化を要望する。また、同時に協約の締結についても求めていく。 4. ①国が示す方針策定要領に基づき検討した結果、統一を目指す結論となったものである。 ②国の制度として子どもの均等割軽減を行う方向であり、県の運営方針にあらためて盛り込む必要はないと考えている。
---	---

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 学校教育全般について ①今年度から、にちなん保育園の所管を教育委員会に移行するために日南町職員定数の一部改正の議案が提案されている。「保・小・中一貫教育」がめざす中身をあらためて問う。 ②日南町の子どもの教育の在り方についての最終答申が1月に発表され、2月27日にシンポジウムが開かれた。 問題はどうか答申を具現化するのかであるが、今後の取り組みを示されたい。	1. ①令和3年度、保育園を教育委員会に移管し、一貫教育がめざす子ども像や目標を共有し、保・小・中一貫教育の更なる推進を図りたい。特に、一貫教育の柱ともなるふるさと教育の推進や保育と教育を一体化した幼児教育の充実、教職員・保育士の連携強化等を進めていきたい。また、日南町子どもの教育在り方検討会の答申内容を踏まえた取り組みの推進も図っていきたい。 ②答申内容を具現化するためには、実行計画であるアクションプランの策定が必要である。具体的に、実施内容や実施時期、実施方法等を示していき、PDCAサイクルを機能させ実効性のあるプランにしていきたい。また、確実に実行していくための環境づくりや進捗確認を行う仕組みも必要であると考えている。
2. 役場の業務と人事管理について ①正規の職員に対する会計年度任用職員の比率が予算ベースで37%を占めている。役場の自治事務量の増加に合わせて新規職員採用の在り方を抜本的に見直す必要があると考えるが、どうか。	2. ①事務の増加や多様化などにより職員個々の負担は増えている現状であるが、類似団体の職員数を参考に定数の管理と新規採用職員の確保に引き続き努める。
3. 新型コロナウイルス感染防止対策について ①新型コロナウイルス感染防止対策として住民の不安解消のためにPCR検査を受けやすい環境を作ることが求められている。鳥取県の補助事業を活用して自己負担なしでPCR検査ができるよう要求する。	3. ①鳥取県の社会福祉施設等への補助金は、家族が緊急事態宣言地域を往来した場合に必要な応じ個別に検査するもので、定期的かつ全職員の一斉検査は、補助の対象とならない。現在まで町内で新型コロナウイルスの陽性者が出ていないこともあり、現段階では実施について考えていない。

②日南町民のワクチン接種事業の体制について分かりやすい説明を求める。 4. 特別養護老人ホーム「あかねの郷」について ①新年度予算においても指定管理者日南福祉会に施設利用料として負担金27,897千円を求め、町の財源に計上している。 公設民営でスタートした「あかねの郷」設立の趣旨から根本的に見直し、日南福祉会との協議を始められたい。	②4月下旬より土・日曜日のみに接種日を設定し高齢者の接種を開始予定。基本は対象者全員日南病院での集団接種とし、高齢者施設については訪問し接種する。各接種日とも医師2名を確保し、一日あたり160人から200人程度接種予定である。 4. ①日南福祉会においては、令和2年度にコンサルタントによる経営診断が行われ、本年度決算では黒字が見込まれる。使用料については、決算状況によりこれまでも毎年協議をしており、今後も猶予、免除あるいは一部免除等の対応としたい。
---	---